

### 神奈中グループのカーボンニュートラルに向けた CO2 排出量削減目標を設定

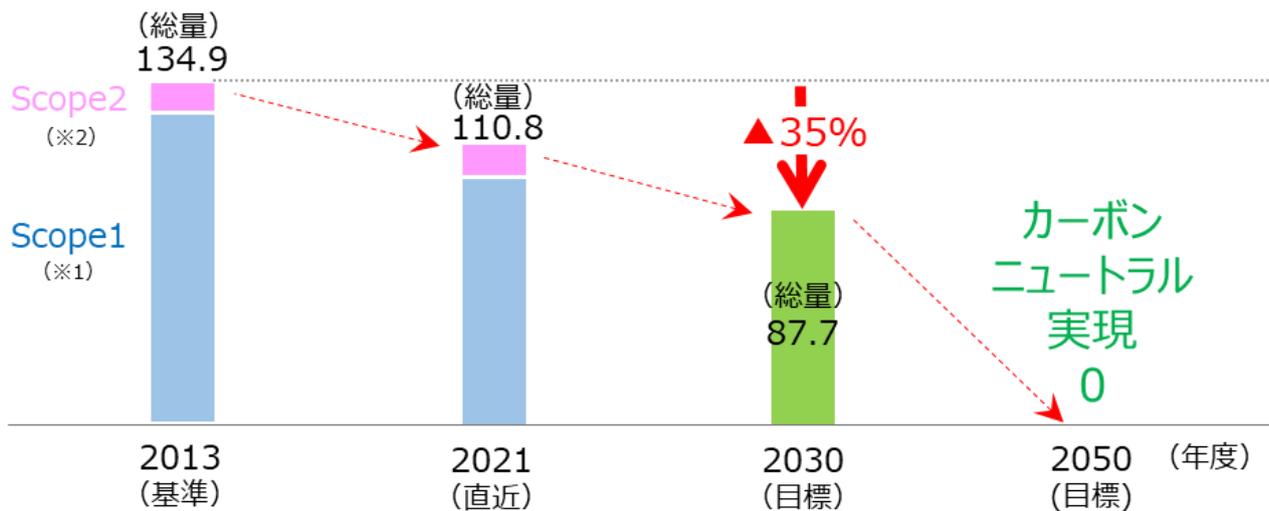
神奈川中央交通株式会社（本社：神奈川県平塚市、代表者：取締役社長 今井 雅之）は、国が定める2050年度のカーボンニュートラル実現に向けて、グループ全体のCO2 排出量削減の具体的な目標数値の設定及びロードマップを策定しました。

当社グループは、Scope1（※1）排出量の比率が高い事業特性を持つ一般旅客自動車運送事業を中核事業としておりますが、脱炭素社会へ貢献するため、CO2 排出量削減に取り組みます。具体的には、ロードマップに示すCO2 排出量削減策を実行し、当社グループ全体として2030年度に35%削減（2013年度比）、及び2050年度にカーボンニュートラルを目指します。

#### 【神奈中グループカーボンニュートラル達成に向けたロードマップ】

（CO2 排出量実績及び目標）

（単位）千t-CO2



（※1）自社での燃料の使用等、直接的な排出。

（※2）自社が購入した電気・熱等のエネルギーの使用に伴う間接的な排出。

(主な CO2 排出量削減策)

Scope	削減区分	削減策	削減策の実施スケジュール		
			2013～21年度	2022～30年度	2031～50年度
Scope 1	省エネ	既存省エネ施策の継続実施	(継続実施)		
		環境配慮車両の導入に伴う省エネ		(EV等導入)	
Scope 2	省エネ	省エネルギーの徹底 (空調、照明、受変電設備対策等)	(継続実施)		
	再エネ	太陽光発電設備の導入 (PPA※3、自社投資)		(PPA導入)	
		環境価値購入等			

(※3) Power Purchase Agreement の略。電気販売契約と直訳され、PPA 事業者がサービス利用者の所有する敷地や屋根のスペースなどに太陽光パネルを設置する。そこで発電された電力をサービス利用者が使用し、電気料金を PPA 事業者を支払う仕組み。

以上

<参考 1>

2022 年 6 月 14 日付で気候関連情報開示タスクフォース（以下、TCFD）による提言への賛同及びこれに基づく情報開示を行いました。今回の CO2 削減目標及びロードマップの設定に伴い、「指標と目標」にその内容を織り込みました。

TCFD に関する詳細は、当社 HP よりご確認ください。

<https://www.kanachu.co.jp/kanachu/csr/climate.html>



## <参考2>カーボンニュートラルに向けたこれまでの当社グループの取り組み

### 1. 環境配慮車両の導入

#### (1) EVバス

2023年、神奈川中央交通㈱では平塚営業所に2両のEVバスを導入しました。

EVバスは走行時にCO<sub>2</sub>を排出しないほか、使用する電力に係る発電時のCO<sub>2</sub>排出量についても、ディーゼルバスが走行時に排出する排出量の約半分であり、ディーゼルバスをEVバスに置き換えることで環境負荷の低減に繋がります。

さらに、今般導入したEVバス2両は、使用する電力に係るCO<sub>2</sub>排出分を環境価値の購入によりオフセットし、CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロで運行します。



平塚営業所に導入したEVバス

#### (2) ハイブリッドタクシー

神奈中タクシー㈱では、2017年度よりLPG-ハイブリッドシステムにより優れた環境性能を有するジャンパタクシー車両の導入を進めており、現在グループ全体で127台（保有台数の約18.0%）保有しています。



LPG-ハイブリッド車  
ジャンパタクシー

### 2. 太陽光発電設備の導入

#### (1) 自社投資型太陽光発電

2012年度より神奈川中央交通㈱のバスの営業所や㈱アドベルのリサイクル工場などの屋根に、自社投資型の太陽光発電設備の設置を進めています。また、今後はPPAも視野に入れ、積極的に再生可能エネルギーを創出します。



(株)アドベル小山マテリアル  
リサイクルセンター

#### (2) メガソーラー事業

2015年度より環境負荷の低減に貢献するため、岩手県胆沢郡金ケ崎町にある神奈川中央交通㈱の社有地2カ所において「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を活用したメガソーラー事業を行っています。2カ所合わせたパネル設置枚数は8,484枚、合計発電容量は2.5MW、年間発電量は約3,011MWhで、一般家庭の約840世帯分の年間使用電力量に相当します。



岩手県胆沢郡社有地

### 3. 省エネのための取り組み

#### (1) LED照明への更新

消費電力削減のため、神奈川中央交通㈱本社ビルの照明設備をLED照明へ更新しました。今後、各営業所や拠点にも順次導入を進めます。

#### (2) 高効率空調機への更新

営業所や自社保有ビルなどで設備を更新する際、高効率のものを選択することで環境負荷の低減を目指しています。

#### (3) グリーン経営認証

グリーン経営認証制度とは、環境保全を目的とした取り組みを行っている運輸事業者に対する認証制度で、エコドライブや省エネ活動など環境保全について一定レベル以上の取り組みを行っている事業者が認証されます。

神奈中グループでは神奈川中央交通㈱、神奈川中央交通東㈱、神奈川中央交通西㈱、神奈中観光㈱が認証を受けています。